

県政報告

福岡県議会議員(糟屋郡)

富永よしゆき

一般質問に登壇し、保育所利用における「**育休退園問題**」について、県内60市町村で対応が異なる事を指摘した上で、待機児童問題の早期の解消と国の指針に従い適切な制度の運用を市町村に促すように知事に求めました。(詳細は裏面→)

2020年12月

Vol.5速報版



● 福岡県議会12月定例会のポイント

(12月1日~18日の18日間の会期で開催)

今議会では、2020年度の補正予算議案2件、福岡県職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例、福岡県緊急経済対策資金信用保証料補填臨時基金条例の制定など条例議案7件、その他専決処分議案、契約議案など15件、計24件が上程されました。(追加の補正予算議案1件が11日に提案され、計25件)

開会日には、早期の議決を要する議案5件が関係常任委員会で審議され、7日の本会議で可決されました。その後、代表質問、一般質問、各常任委員会を経て、18日の本会議で追加の補正議案を含む20件の議案の採決が行われ、いずれの議案も可決されました。この他に、人と動物の共通感染症対策を一体的に講じる「ワンヘルス」を推進する条例案が議員提案され、賛成多数で可決されました。尚、県の行動確認などの調査を正当な理由なく拒否した人に5万円以下の過料を科すとした罰則項目を盛り込むことは、今後、議論を続けるとして見送られています。私や私の事務所にも、**感染症そのものに対する不安**と同様に、**感染した方への差別や偏見に対する強い危機感**を感じておられる多くの方からお声を頂いています。皆さまからお伺いしたご意見、ご要望は、しっかりと議会へ届けてまいります。引き続き、富永よしゆきへご意見をお聞かせください!



本会議場での採決の様子

● ● 令和2年度12月補正予算のポイント

区分	当初予算	9月補正後 予算 A	12月補正予算			12月補正後 予算 D=B+C
			当初提案分 (第7号)	追加提案分 (第8号)	計 C	
一般会計	1,851,724	2,220,712	▲ 4,260	2,729	585	▲ 946
特別会計	955,785	955,785	0	0	0	0
計	2,807,509	3,176,497	▲ 4,260	2,729	585	▲ 946
						3,175,551

※追加提案分の財源は、全額国庫支出金 (※単位：百万円)

項目	予算額	財源内訳		
		特定財源	一般財源	その他
補正予算第7号	▲ 4,260	6,058	689	212 ▲ 11,219
○事業費	13,026	6,217	689	221 5,899
1. 新型コロナウイルス感染症対策	10,629	5,038	689	▲ 96 5,687
2. 令和2年7月豪雨災害復旧・復興対策	1,705	943		73
3. 地域医療の充実等	692	236		317 139
○減額補正等	▲ 16,269	▲ 45		▲ 9 ▲ 16,215
1. 税関連市町村交付金	▲ 9,384			▲ 9,384
2. 持続化緊急支援金など事業費の減	▲ 6,885	▲ 45		▲ 9 ▲ 6,831
○給与費	▲ 1,017	▲ 114		▲ 903
補正予算第8号	2,729	197	0	0 2,532
1. 新型コロナウイルス感染症対策	2,003			2,003
2. 高病原性鳥インフルエンザ緊急対策	726	197		529
合計	▲ 1,531	6,255	689	212 8,687



新型コロナウイルス感染症の影響で税収が大幅に減少すること等に伴い、12月議会一般会計補正予算は、9億4600万円の減の約2兆2,197億円となりました。以下が歳出の主なものです。

【補正予算第7号】

- 地域経済活性化策(観光支援事業等)【約10.8億円】
- 地域商品券の発行規模拡大 【約5.5億円】

【補正予算第8号】…早期議決を行ったもの

- 高齢者等の施設職員へ無料PCR検査 【約20億円】
- 高病原性鳥インフルエンザ緊急対策費【約7.3億円】

【補正予算第9号】…追加提案されたもの

- 低所得のひとり親世帯への臨時特別給付金再支給 1世帯5万円、2人目以降の子ども1人につき3万円 対象世帯(県所管町村部):約8,500世帯【5.85億円】

● 育児休業中の保育について(利用調整と育休退園について) 12月9日(水)【一般質問】

Q: 育休退園とは? -tomipediaより-



保育所に既に通っている児童がいる家庭で、下の子どもを出産し、育児休業に入るのと同時に、上の子が保育園を退所させられるという。2015年度に施行された「子ども・子育て支援新制度」では、親が育児休業に入っていても、既に保育所に通っている子については、児童福祉の観点から継続利用が必要な場合には、保育が必要な事由として認められることが明記されています。

⇒しかしながら、糟屋郡や福岡市周辺にお住いの保護者の方から「一律に退園させられ、困っている」とのお声を多くお聞きます。富永も自身も3年前に長男が同様の扱いを受けた経験から再度、調査を行い、今回の質問に至りました。福岡県内の待機児童は29市町1,189人(令和2年4月)で全国4位と報告されています。



	平成30	平成31	令和2
宇美町	0	0	26
篠栗町	14	13	72
志免町	57	24	34
須恵町	21	35	42
新宮町	35	21	43
久山町	1	21	28
粕屋町	74	39	0
県全体	995	1,232	1,189

↑糟屋郡内の待機児童数の推移

知事は、本年度に、施設定員数>利用申込者数が達成されたと成果を強調されるが、糟屋郡の多くの町で数値以上の方が待機児童問題に直面しているものと考えられる。

↑2020年12月10日(木)読売新聞朝刊より

● ! 富永の指摘と要望! 育休退園のここが問題だ!

- ・国の指針に従わず、県内の市町村間で制度の不均衡が生じているのは大問題。
 - ・急に退園させられる子どもの運動不足や精神状態等を考慮すると、心身ともに心配。
 - ・環境が変わり、情緒不安定な上の子と新生児の育児の両立は保護者にとって困難。
 - ・今後も2人目、3人目を持つことの大きな壁となり得る。
 - ・保護者の育児休業明けの復職と子どもの保育所の確保の両立が困難になっている。
 - ・子どもたちの地域での繋がりこそが今後の地域社会の繋がり(福岡県)を強くする。
 - ・子どもたちのシビックプライドの醸成と未来のコミュニティ形成のためにも地域の保育所等の整備を!
 - ・育児休業の取得推進や女性活躍推進に対する行政のあり方(本気度)への疑問を感じる。
- ∴待機児童問題の根本的な解決と市町村独自の対応の是正と不均衡の解消を要望する。



※動画でもご覧いただけます!



一般質問時の様子
(福岡県議会事務局提供)

● A 知事の答弁【概要】 古賀市、福津市、太宰府市、水巻町、新宮町、久山町、篠栗町、須恵町、宇美町

- ・本県の市町村において、11月末現在で9市町で保育所の利用調整を行わず、一律に退所させる、いわゆる育休退園の取り扱いを行っている。このような取り扱いは、必要性を十分に勘案した保育の提供となつておらず、児童福祉の観点から望ましくないものと考えている。
- ・育休退園を行っている9市町のうち、8市町では本年4月に待機児童が発生しており、市町に聞き取りを行った結果、待機児童の入所をさせていることが育休退園の主な要因となっている。
- ・県としては、各市町村に対し、上の子どもに保育所の継続利用の必要性があるか、児童福祉の観点から適切に判断するように指導するとともに、保育の必要なすべての子どもが保育所を利用できるように待機児童解消のための多様な取り組みを協議し、市町村による保育の受け皿整備を促進してまいる。

22世紀につながる県政に!

福岡県議会議員 富永芳行事務所

〒811-2412 福岡県糟屋郡篠栗町乙犬678-1

ホームページはこちら

☎092-931-5726

fAX092-931-5727 <https://t-yoshiyuki.jp>



富永 芳行 (当選1回・37歳)

- 福岡高校（高54回卒／ラグビー部）
- 早稲田大学（アジア社会論／ラグビークラブ）
- 株式会社博多大丸（9年間勤務）
- 立憲民主党福岡県連合糟屋郡政策担当
- 妻、長男6歳、長女2歳と篠栗町乙犬在住